

第1日 10月29日（金）13:00～15:30

午後の部会（13:00～15:30）

部会1 「技術革新をめぐる国際政治」

司会 田中 明彦（政策研究大学院大学）

報告 齊藤 孝祐（上智大学）

「米国のAI戦略と同盟国間の技術管理——コンセンサス形成の問題を中心に」

福島 康仁（防衛研究所）

「宇宙技術の革新と安全保障」

伊藤 亜聖（東京大学）

「新興国のデジタル化とチャイナエフェクト」

討論 土屋 大洋（慶應義塾大学）

佐橋 亮（東京大学）

部会2 「『帝国』の復活か、残影か——歴史上の帝国秩序と現代」

司会 永野 隆行（獨協大学）

報告 小川 浩之（東京大学）

「イギリス帝国の遺産と現代国際関係」

池内 恵（東京大学）

「中東の『選択的帝国』」

岡本 隆司（京都府立大学）

「二つの『中国』——歴史的にみる東アジアの帝国秩序」

討論 石田 憲（千葉大学）

酒井 哲哉（東京大学）

部会3 “Methodological Developments in the Studies of SDGs”（英語で実施）

Chair: MORI Katsuhiko (International Christian University)

Speakers:

KURUSU Kaoru (Kobe University), KAWAMURA Shin'ya (Chubu University),

TAKASU Yukio (Ritsumeikan University)

“SDGs and Human Security Indicators of Japan at Sub-national Level: for Leaving No One Behind”

SAKAMOTO Takuto (The University of Tokyo), OISHI Koji (Aoyama Gakuin University)

“The Evolution of Global Development Cooperation: An Analysis with Stochastic Block Modelling”

GATES Scott (The University of Oslo)

“The Effect of Armed Conflict on the Sustainable Development Goals: Apply Synthetic Control Methods”

Discussant:

OSHIBA Ryo (Hiroshima City University)

MATSUMURA Naoko (Kobe University)

部会 4 「国際レジーム論を問い直す——その後の理論的展開と今日的意義」

司会 河野 勝 (早稲田大学)

報告 坪内 淳 (聖心女子大学)

「レジーム論とリアリスト」

南山 淳 (筑波大学)

「安全保障レジームの再検討——CSSの視角から」

宮脇 昇 (立命館大学)

「国際レジームの争点領域——新自由主義制度論の見地から」

討論 足立 研幾 (立命館大学)

横田 匡紀 (東京理科大学)

部会 5 「国際関係論の教育——何を誰に如何なる手法で教えるのか」

司会 椛島 洋美 (横浜国立大学)

報告 杉村 美紀 (上智大学)

「国際高等教育の展開と大学教育の課題」

上杉 勇司 (早稲田大学)・小山 淑子 (東洋大学)・小林 綾子 (上智大学)

「ポストコロナの参加型授業——紛争解決ワークショップの改良と効用」

佐藤 洋一郎 (立命館アジア太平洋大学)

「多文化環境における国際関係教育」

討論 椛島 洋美 (横浜国立大学)

馬場 孝 (静岡文化芸術大学)

分科会セッションA (15:45~17:45) 別掲

第2日 10月30日 (土) 9:30~12:00, 16:15~19:05 (共通論題)

午前の部会 (9:30~12:00)

部会 6 「沖縄返還50年——国際政治史の文脈で」

司会 我部 政明 (琉球大学)

報告 河野 康子 (法政大学)

「冷戦と脱植民地化の中の沖縄——那覇・ニューヨーク・東京 (1961-1967)」

野添 文彬 (沖縄国際大学)

「沖縄米軍基地の整理縮小は進んだのか?——沖縄返還とその後」

- 成田 千尋 (立命館大学)
「東アジア国際政治と沖縄返還交渉」
- 討論 佐道 明広 (中京大学)
佐々木 卓也 (立教大学)
- 部会 7 「ソーシャル・メディアによる連帯と分断の国際政治」**
- 司会 外山 文子 (筑波大学)
- 報告 五野井 郁夫 (高千穂大学)
「ソーシャル・メディアとグローバルな民主主義」
張 雪斌 (大阪経済法科大学)
「中国の対外宣伝広報におけるソーシャル・メディア」
山本 達也 (清泉女子大学)
「ソーシャル・メディアをめぐる政府と民衆のパワーバランスの推移と国際政治への影響」
- 討論 阿古 智子 (東京大学)
千葉 悠志 (公立小松大学)
- 部会 8 「和平調停と平和構築における包摂性の課題」**
- 司会 田中 (坂部) 有佳子 (青山学院大学)
- 報告 東 大作 (上智大学)
「包摂性の課題——南スーダンとアフガンのケース」
谷口 美代子 (国際協力機構)
「包摂性の課題——ミンダナオの事例から」
山尾 大 (九州大学)
「戦後イラクにおける包摂性と国民統合の問題」
- 討論 峯 陽一 (同志社大学)
田中 (坂部) 有佳子 (青山学院大学)
- 部会 9 「メガリージョンの再編成——インド太平洋・一帯一路・ユーラシア連合を中心に」**
- 司会 岩下 明裕 (北海道大学)
- 報告 伊藤 融 (防衛大学校)
「インドから見たインド太平洋——対中安全保障と戦略的自律性の狭間で揺れるモディ政権」
堀内 賢志 (静岡県立大学)
「『大ユーラシア』をめぐるロシアの外交戦略」
三船 恵美 (駒澤大学)
「中国からみた一帯一路とインド太平洋」
- 討論 岩下 明裕 (北海道大学)
溜 和敏 (中京大学)

部会10 日韓合同部会 “Constructing Regional Architecture: Middle Powers in the Asia-Pacific” (英語で実施)

Chair: OYANE Satoshi (Doshisha University, President of JAIR)

Speakers:

PAIK Wooyeal (Yonsei University)

“Are They in the Same Boat? The Middle Powers’ Geostrategic Perspectives in the BRI-IPS Interstellar”

WU Yu-Shan (Institute of Political Science, Academia Sinica)

“Medium and Small Countries on the Geostrategic Faultline: Hegemonic Rivalry and the Pandemic”

YAMAMOTO Nobuto (Keio University)

“The Dynamics of Regional Cooperation Games: Perspectives from Southeast Asia”

Discussant:

LIM Eunjung (Kongju National University)

STARECKA Katarzyna (The University of Warsaw)

分科会セッションB (12:15~13:45) 別掲

分科会セッションC (14:00~15:30) 別掲

International Relations of the Asia-Pacific (IRAP) 投稿セミナー (13:30~15:30)

20周年を迎えたInternational Relations of the Asia-Pacific (IRAP) 誌の趣旨、掲載論文の方向性、課題などについて、IRAPの編集に携わった会員が所見や体験談を提供し、投稿に関するアドバイスや将来の展望を含め、セミナー形式で会員の皆様と意見交換を行います。

スピーカー 佐々木 卓也 (立教大学、元IRAP編集主任)

飯田 敬輔 (東京大学、前IRAP編集主任)

司会 鈴木 基史 (京都大学、現IRAP編集主任)

総会 (15:45~16:05)

【共通論題】「ポスト・コロナの国際秩序」 (16:15~19:05)

司会 国分 良成 (慶應義塾大学)

報告 亀山 康子 (国立環境研究所)

「環境・気候変動の観点」

古城 佳子 (青山学院大学)

「コロナと自由主義国際経済秩序」

道下 徳成 (政策研究大学院大学)

「安全保障の観点——日本の役割の変化と展望」

討論 小林 誠 (お茶の水女子大学)

保城 広至 (東京大学)

オンライン懇親会 (19:10~21:00)

分科会セッションD (9:30~11:00) 別掲

分科会セッションE (11:15~12:55) 別掲

英文ジャーナル投稿セミナー——Review of International Political Economy (RIPE) を中心として (12:30~14:00)

海外英文ジャーナルに投稿する意義や投稿誌の選択方法、査読プロセスなどについてセミナー形式でお伝えします。Review of International Political Economy (RIPE)誌編集委員と英語論文執筆経験の多い会員2名が、効率的な英語論文執筆法や査読を通るための執筆技法など、実践的な情報も含めて議論します。

スピーカー 片田 さおり (南カリフォルニア大学、RIPE編集委員)

吉松 秀孝 (立命館アジア太平洋大学)

浜中 慎太郎 (アジア経済研究所)

司会 片田 さおり (南カリフォルニア大学)

午後の部会 (14:00~16:30)

部会11 「歴史認識・記憶・和解の可能性と国際関係」

司会 木畑 洋一 (東京大学)

報告 浅野 豊美 (早稲田大学)

「国民国家形成の断層をめぐる内外政治の共振と歴史和解——日韓関係を例に」

前川 一郎 (立命館大学)

「イギリスの人びとは帝国・植民地主義の過去をどう見てきたか？」

片岡 真輝 (アジア経済研究所)

「フィジーにおける表層的な民族融和と多人種主義——記憶の政治利用と被害者記憶をめぐって」

討論 木村 幹 (神戸大学)

クロス 京子 (京都産業大学)

部会12 「英米覇権のグローバリズムを問い直す」

司会 柄谷 利恵子 (関西大学)

報告 中嶋 啓雄 (大阪大学)

「アジア・太平洋における自由主義的帝国間秩序と『新渡戸宗の使徒』——両大戦間期から戦後へ」

遠藤 誠治 (成蹊大学)

「リベラルなグローバル・ガバナンスとヘゲモニーの構造——ポスト・ネオリベリズムの世界秩序安定の条件」

白川 俊介 (関西学院大学)

「『ナショナリズムの復活』に関する規範的考察——政治哲学的観点から」

討論 清水 耕介 (龍谷大学)

馬路 智仁 (東京大学)

部会13 「地域制度形成の国際関係——国際連携ダイナミズムの理論的検討」

司会 太田 宏（早稲田大学）

報告 森井 裕一（東京大学）

「EUの対インド太平洋外交とドイツのリーダーシップ」

坂井 一成（神戸大学）

「地中海圏域における地域連携の交錯とフランス」

今井 宏平（アジア経済研究所）

「中東・欧州・ユーラシア地域制度の関係とトルコ外交」

討論 太田 宏（早稲田大学）

大庭 三枝（神奈川大学）

部会14 「アフリカにおける『ケア』の政治」

司会 武内 進一（東京外国語大学）

報告 眞城 百華（上智大学）

「紛争下における女性のエージェンシーの検討——エチオピア・ティグライ女性協会の経験」

牧野 久美子（アジア経済研究所）

「南アフリカにおける社会政策の変化とケアの再編」

玉井 隆（東洋学園大学）

「ナイジェリアにおける周縁化された人びとの生とケア」

討論 網中 昭世（アジア経済研究所）

杉木 明子（慶応義塾大学）

部会15 「グローバル・ヒストリーとしての石油危機」

司会 池田 明史（東洋英和女学院大学）

報告 藤澤 潤（神戸大学）

「石油危機とソ連・東欧諸国」

山口 育人（奈良大学）

「石油危機と国際金融秩序」

平野 克己（アジア経済研究所）

「石油危機と開発論の変質」

討論 秋田 茂（大阪大学）

山本 健（西南学院大学）